

パイプカルバートに関する  
調査表記入マニュアル

## [D100] パイプカルバート基本

この調査表は、パイプカルバートに関する基本的データを登録するためのものである。なお、ここで取扱うパイプカルバートとしては以下を対象とする。ただし、管理上必要と判断されるパイプカルバートについては関連部署と協議の上データ整備の対象とする。

① 「(AH) 管径」が300mm以上

### 1. 一般的注意事項

(1) データは次の単位で作成する。

- 路線毎とする。
- 設置箇所毎とする。
- 形式種別毎とする。
- 管径毎とする。

(2) パイプカルバートに関する写真・図面類については「D101パイプカルバート図面類」にて作成する。

(3) パイプカルバートに関する補修履歴については「D102パイプカルバート補修歴」にて作成する。

### 2. 記入事項

(1) 工事番号

(2) 工事区分C

(3) 施設対応番号

(C) 地整C

(D) 事務所C

(E) 出張所C

(F) 路線

(G) 現旧区分C

(H) 整理番号1

(I) 整理番号2

(J) 整理番号3



↑  
年号コード（4：平成）

(Y) 上り下り区分C

上り・下り区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
上下線共通	0
上 り 線	1
下 り 線	2

(AA) 所在地

該当する区間の所在地（字番地まで）について、30文字以内の日本語で記入する。

(AB) 設置区分C：◆

設置区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
縦断管渠（道路に平行）	1
横断管渠（道路を横断）	2
そ の 他	9

(AD) 形式種別C：◆

形式種別について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
鉄筋コンクリート管	1 1
硬質塩化ビニール管	1 2
強化プラスチック複合管	1 3
陶 管	1 4
コルゲートパイプ	1 5
ダクタイル鋳鉄管	1 6
鋼 管	1 7
卵 型 管	1 8
そ の 他	9 9

(AF) 使用用途C

使用用途について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
道 路 排 水	1 1
公 共 下 水 道	1 2
都 市 下 水 路	1 3
農 業 用 水	1 4
工 業 用 水	1 5
そ の 他	9 9

(AH) 管径 (mm) : ◆

パイプカルバートの管径 (公称径) について記入する。

(AI) 最大土被り (m)

(AJ) 最小土被り (m)

上記 (AI)、(AJ) については、該当する区間の土被り厚の最大値と最小値を、小数点以下1位まで記入する。なお、土被りが一定の場合は、最大、最小の土被りは同値を記入する。

(AK) 延長 (m) : ◆

パイプカルバートの延長 (のべ延長) を記入する。

(AL) 構造区分C

パイプカルバートの材質について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
プレキャストを利用したもの	1
石造り・レンガ造り等	2
その他	9

(AN) 基礎形式C

パイプカルバートの基礎形式について、該当するコードを記入する。なお、基礎形式が複数ある場合は代表的なものを記入する。

区 分	コード
砂基礎	1 1
砂利又は碎石基礎	2 1
コンクリート基礎	3 1
コンクリート基礎 (90°)	3 2
〃 (120°)	3 3
〃 (180°)	3 4
〃 (360°)	3 5
鉄筋コンクリート基礎	4 1
鉄筋コンクリート基礎 (90°)	4 2
〃 (120°)	4 3
〃 (180°)	4 4
〃 (360°)	4 5
まくら木基礎	5 1
はしご胴木基礎	6 1
杭基礎	7 1
全巻基礎+杭基礎	8 1
その他	9 9

(AP) 管理協定有無C

管理協定の有無について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
管理協定無し	1
管理協定あり	2

(AR) 協定年月日

管理協定がある場合、管理協定がなされた年月日を記入する。(年は西暦年で記入)

管理協定がない場合は‘\*’を記入する。

(記入例) 1984年 3月15日 ——> 19840315

(AS) 管理者名

管理者名を15文字以内の日本語で記入する。管理協定がない場合は「\*」を記入する。

(AT) 備考

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

(AU) 市区町村自C

該当する区間の始点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡旭村の場合 ——> コード: 08401  
(検査数字は含まない)

(AW) 市区町村至C

該当する区間の終点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡大洋村の場合 ——> コード: 08403  
(検査数字は含まない)

## [D102] パイプカルバート補修歴

この調査表は、パイプカルバートの補修履歴等に関するデータを登録するためのものである。

### 1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 「D100パイプカルバート基本」の作成単位毎とする。
- 補修が行われた毎とする。

### 2. 記入事項

(1) 工事番号

(2) 工事区分C

(3) 施設対応番号

(C) 地整C

(D) 事務所C

(E) 出張所C

(F) 路線

(G) 現旧区分C

(G-1) 現旧区分

(H) 整理番号1

(I) 整理番号2

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(G-1)、(H)、(I)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 補修年月

補修を行った年月を記入する。(年は西暦年で記入)

(記入例) 1985年10月 ——> 198510

(Q) 補修内容C

補修内容について該当するコードを記入する。



区 分	コード
布 設 換 え	1 1
部分布設換え	1 2
管継手部の補修	1 3
目 地 の 補 修	1 4
ひびわれの補修	1 5
取付管部の補修	1 6
そ の 他	9 9

(S) 備考

損傷原因等について50文字以内の日本語で記入する。

# 道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

D100：パイプカルバート（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分C	半角1文字		○	○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
名称	全角10文字			○
百米標自	999.9	k m	○	○
距離自	9999	m	○	○
百米標至	999.9	k m	○	○
距離至	9999	m	○	○
施設完成年度	999	和暦		○
施設改修年度	999	和暦		○
上り下り区分C	半角1文字			○
所在地	全角30文字			○
設置区分C	半角1文字		○	○
形式種別C	半角2文字		○	○
使用用途C	半角2文字			○
管径	9999	m m	○	○
最大土被り	99.9	m		○
最小土被り	99.9	m		○
延長	9999	m	○	○
構造区分C	半角1文字			○
基礎形式C	半角2文字			○
管理協定有無C	半角1文字			○
協定年月日	19990101	西暦		○
管理者名	全角15文字			○
備考	全角50文字			○
市区町村自C	半角5文字			○
市区町村至C	半角5文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

# 道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

D102：パイプカルバート（補修歴）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分C	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号1	半角8文字			○
整理番号2	半角4文字			○
補修年月	199901	西暦		○
補修内容C	半角2文字			○
備考	全角50文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照